

募集

町ホームページのバナー広告を募集します

●申し込み・問い合わせ 役場総合政策課 情報計画係 ☎096(293)5211、FAX 096(292)9415



町ではホームページでのバナー広告事業を展開しています。バナー広告とは、町のホームページに企業などのホームページをリンクさせるもので、企業のPR、地域経済の活性化、新たな財源確保を目的としています。ぜひ、あなたの会社のバナー広告を掲載してみませんか？

ホームページを持っていない各種事業所・団体などもバナー広告が掲載できます

規定のフォームで簡易なページを作成し、バナー広告に掲載することができます。お気軽にご利用ください。

- ◆文字数 1,000文字以内
◆写真などの画像データ 3枚以内
◆添付ファイル 2.0MB以内

※大津町有料広告掲載要綱第3条に該当する内容の広告は掲載できません。例：法令などに違反するものまたはそのおそれがあるもの／公序良俗に反するものまたそのおそれがあるもの／政治性、宗教性のあるもの／掲載する広告として不適当であると町長が認めるもの

■バナー広告掲載料

月額1,500円～8,000円(掲載場所により金額が異なります)

■掲載期間 翌年3月末まで(1カ月単位でも可)

■申込方法

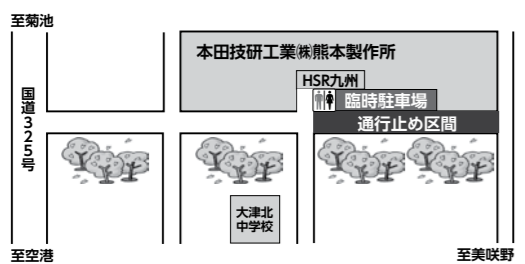
掲載申込書を郵送・FAX・メールいずれかで送付してください

町ホームページ http://www.town.ozu.kumamoto.jp/
メールアドレス sougou@town.ozu.kumamoto.jp

イベント

「あなたと歩こう、桜のトンネル」歩行者天国開催

●問い合わせ 明日の観光大津を創る会 (大津町交流会館内) ☎096(294)2877



本 田技研工業株熊本製作所(町道本田技研南通線)の一部を通行止めにし、歩行者天国を実施します。満開の桜のトンネルの下をゆっくり歩いてお弁当を食べませんか。歩行者天国当日は飲食の出店もあります。桜の開花に合わせて実施し、実施しない場合もあります。お出かけ前にお問い合わせください。

▼通行止め日時
3月21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)
午前9時～午後4時

ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

募集

大津つつじ祭をいっしょに盛り上げよう！参加者募集

●申し込み・問い合わせ 大津つつじ祭実行委員会 (町交流会館内明日の観光大津を創る会事務局) ☎096(294)2877



大津つつじ祭実行委員 会では、4月19日(日)に開催される大津つつじ祭のステージ、パレード出演者を募集しています。団体のPRや習い事の成果を披露するチャンスです！ふるってご応募ください。当日のステージやパレードのお手伝い、前日の準備をしてくれるボランティアスタッフ(中学生以上)も募集しています。つつじ祭りの裏側をのぞいて、つつじ祭りを倍楽しみませんか。

▼申込期限
3月13日(金) 正午

※応募者多数の場合はつつじ祭り実行委員会で選定を行います。

大津町の社会福祉に大きく貢献

平成26年度熊本県社会福祉功労者および団体等知事表彰



●ボランティア(個人)
たのうえ たかし
田上 隆さん

食の自立支援事業給食サービスで食事の配達ボランティアを7年以上行っている。利用者とのコミュニケーションも積極的に図るなど、高齢者福祉に貢献。

「平成26年度熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰式」が、2月3日、県庁で行われ、社会福祉に貢献した5人が県知事から表彰されました。



●社会福祉事業施設の職員
きはらてるよ
桐原照代さん

特別養護老人ホーム「つつじ山荘」に17年以上勤務し、介護職員として利用者の皆さんが元気になるお手伝いを行い、高齢者福祉に貢献。



●社会福祉事業関係団体職員
まつき ゆういちろう
松本雄一郎さん

大津町社会福祉協議会に22年以上勤務し、事務局次長として関係機関と連携をとり、大津町に必要なサービスや人づくりを推進するなど、地域福祉の向上に貢献。



●社会福祉事業関係団体役員
しが みゆき
志賀 幸さん

大津町身体障がい者福祉会に29年以上従事。長年に渡り理事を務め、相談など同会への支援を行っており、障害者福祉に貢献。



●訪問介護員
さいとう みちこ
齊藤みち子さん

大津町社会福祉協議会に16年以上勤務し、訪問介護事業所ホームヘルパーとして、利用者一人一人にあった生活援助を行い、高齢者福祉に貢献。

マイペースで健康体づくり!

第16回スポーツの森・大津ジョギングフェスティバル

2月22日、「第16回スポーツの森・大津ジョギングフェスティバル」が町運動公園で開催されました。当日は1歳から81歳の約1,000人とホンダ熊本硬式野球部の選手30人が参加し、それぞれ2km、5km、10kmのコースを自分のペースで走りました。この大会は300人以上のボランティアで運営されており、ゴールした参加者には豚汁やおにぎりなどが振る舞われました。



1一人一人が、思い思いのペースで走ります 2小雨にも負けず、みんな笑顔で駆け抜けていました 3ボランティアの皆さんの協力は、大会の運営に欠かせません 4大人も子どももヒーローも、みんな一斉にスタート

